

こんにちわ。さて、本日から少年院の話と進んでいきます。 いや～あの時は、少年院とは?イジメられるだろうな・・・ と不安で一杯でした・・・

新幹線に乗せられ、私は数時間後、少年院に到着した。門をくぐり、入院する際の手続きや身体検査を受け、その後、3畳程度の汚い、薄暗い独居房へ入れられる。

ここで1週間もすごすのか・・・ とにかく汚い部屋でした

1週間の間、テストや自分が身に着ける衣服に名前を書いたり、色々と作業があるのであつという間に1週間が過ぎました。

そして、1週間後に私は雑居房へ転房することになるのです。これからが本当の意味で長い少年院生活なのです。。。

雑居房に入り、院生に紹介される。いやいや～そりゃ～怖い不陰気でしたよ。。。。

少年院の平日は、朝6時半頃に起床、点呼、掃除、そして朝食。朝食終了後には、NHKの連ドラを見て、作業場へ行き与えられた作業をする。私は石工課だったので、灯籠や蛙などを製作していた。後は、曜日によって作業の合間に運動、入浴などが実施される。

作業等が終わり、自分の寮(余暇時間や寝る場所)へ行進して戻る。そして、夕食、集会(更生するために毎日行われる)、

そして余暇時間(テレビ視聴など)、21時に自分の部屋(団体部屋)に戻り、就寝準備、部屋ごとの反省会、就寝・・・ こんな感じの規則正しい毎日である。

不思議なことで、一日、一日過ごしていく

ことで閉鎖された社会に居るという感覚がなくなり、いつしか、自分がこの施設で生きていることが当たり前のように思えてくる。

ただ、社会との大きな違いは、人間関係で気まづくなっても、その人と毎日顔を合わせなければならない。つまり、一切「逃げ道がない」のである。

逃げ道がないから、喧嘩や嫌がらせなんかは日常茶飯事。時には就寝後に気に入らない奴に襲い掛かる奴もいた。 毎日、毎日同じことの繰り返し・・・

でも、こんな生活の中にも喜びもあった!?